

5つの重点テーマ







国立健康危機管理研究機構
国際医療協力局
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

https://kyokuhp.jihs.go.jp

2026年10月



生きる力をともに創る

意識・行動・発信

Care, **Commitment** and
Communication for a Healthier World



国立健康危機管理研究機構
国際医療協力局
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

私たちのミッション

Mission

国際医療協力局は、地球上のすべての人々が
健康な生活を送ることが等しくできるような世界を目指し、
低・中所得国をはじめとする
世界の保健向上のために専門性を提供し、
また、我が国にその経験を還元します。

私たちのビジョン

Vision

“誰一人取り残さない”健康な社会の実現を目指して、
世界においてグローバルヘルス分野をリードする
組織の一つとなります。

5つの戦略

1 グローバルヘルスに関する専門家集団として、技術協力活動を総合的に展開します

2 シンクタンクとして、世界の多様な保健分野の関係者に知見を提供します

3 研究組織として、実践的なエビデンスを創出します

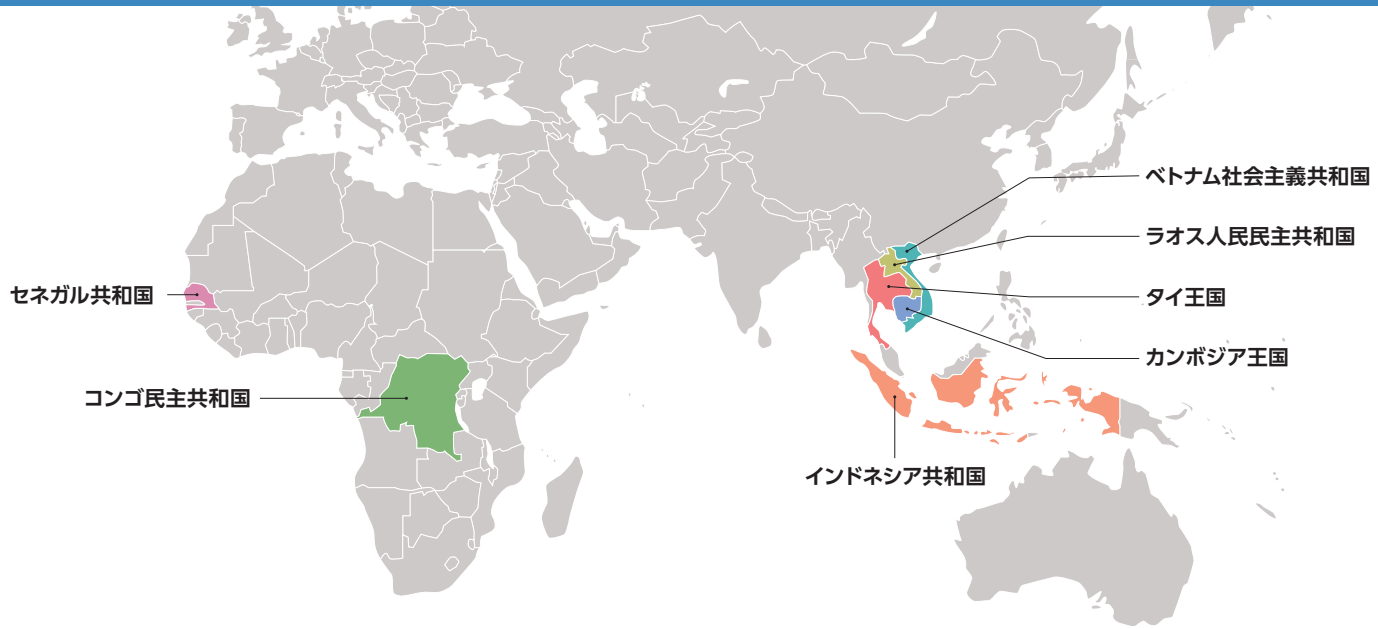
4 国内外のグローバルヘルス人材を育成します

5 革新的な事業の創出を推進します



技術協力プロジェクト

2026年10月1日現在



セネガル共和国

★保健行政アドバイザー
★医療サービスの質改善プロジェクト

コンゴ民主共和国

★感染症疫学サーベイランスシステム強化プロジェクトフェーズⅡ

ベトナム社会主義共和国

★遠隔技術を活用した医療人材能力向上体制強化プロジェクト

ラオス人民民主共和国

★保健政策アドバイザー
★看護師・助産師継続教育制度整備プロジェクト

タイ王国／ASEAN

★公衆衛生危機管理のためのASEAN感染症対策センター設立と能力強化支援

カンボジア王国

★非感染性疾患対策プロジェクト
★UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）達成に向けた保健政策アドバイザー

インドネシア共和国

●東アジア・アセアン経済研究センター（ERIA）
Health Development and Policy プロジェクトマネージャー

★：国際協力機構案件









健康危機・公衆衛生危機への対応と準備

目 的

国内外の感染症を含む様々な健康危機に対し、レジリエントな（強くしなやかな）保健医療システムを基盤とした予防・備え・対応・回復（PPRR）に取り組みます。

活 動

1. 自然災害や感染症などの緊急事態に備え、政府からの要請を受け、世界各地に専門家を派遣します。
2. 低・中所得国において、様々な健康危機の予防・備え・対応・回復（PPRR）のためのシステム構築・改善を目指した技術協力を実施します。
3. 国内外の感染症を含む様々な健康危機の予防・備え・対応・回復（PPRR）に関する学術研究を行います。

疾病対策

目 的

主に感染症対策やがんを含む非感染性疾患の予防や管理について、対象となる人々、国や地域の多様性を考慮し取り組みます。

活 動

1. 在外事業を通じた技術協力[1)]を実施します。
2. 研究プロジェクトを通じたエビデンスを創出します。
3. WHO（世界保健機関）やグローバルファンド[2)]などのグローバルネットワークへ知見を提供します。

日本政府および GOARN（Global Outbreak Alert and Response Network[3)]）と連携し、公衆衛生危機への予防、準備および対応のため職員を派遣しています。

1) 技術協力とは、開発途上地域の開発を主たる目的として日本の知識・技術・経験を活かし、同地域の経済社会開発の担い手となる人材の育成を行う協力をいいます。（外務省 web サイト）
2) グローバルファンド（世界エイズ・結核・マラリア対策基金）とは、低・中所得国での三大感染症対策に資金を提供する機関のことを指します。
3) GOARN とは、多職種から構成される国際的なアウトブレイク対応チームのことを指します。

医療製品のアクセス＆デリバリー

目 的

UHC（ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ）達成に向け、質の高い医療技術と医療製品を低中所得国に合うかたちで住民に届け、健康向上につなげる活動に取り組みます。そのアプローチとして、7つのステップ（①現状分析、②開発／設計、③認証／登録、④選定／優先付け、⑤国際公共調達、⑥流通／保管、⑦保健医療サービス提供）を包括的に支援します。

活 動

1. 国内および国際社会のパートナーと経験や知見を共有するための調査を行います。
2. 官民連携のもと、特に日本の関連事業者がアクセス＆デリバリーに関する最新の情報や知識を得る機会として、セミナーや講演会を提供します。
3. 国内外の動向について、理解を深められるような情報を提供します。

取り残されがちな人々（女性と子どもを含む）の健康

目 的

“誰一人取り残さない” SDGs時代の社会の実現を目指して、保健医療に十分にアクセスしにくい人達の健康を守るために、調査研究・実践・ネットワーキング・人材育成・政策提言に取り組みます。

活 動

1. 保健医療情報を提供します。
2. 保健医療サービスへのアクセスを構築します。
3. 社会的、経済的、文化的課題に対応します。
4. 外国人向けの事業や対象国との相乗効果を高めます。

新たな健康課題に対応可能な質の高い保健医療サービス提供体制と人材

目 的

早期に新たな健康課題を認識し、“誰一人取り残さない”保健医療サービスの提供体制の構築に貢献します。

活 動

1. WHO、グローバルファンド、JICA（国際協力機構）、仏語圏アフリカ保健人材管理ネットワーク[4)]、Health System Global[5)]などの国際的な機関に知見を提供します。
2. 低・中所得国における保健医療人材の育成や定着、および保健医療施設においてより良い保健医療サービスが提供されるために知見を提供します。
3. アジアとアフリカにおいて、質の高い保健医療サービスの提供および保健医療人材に係る政策および実装研究を行います。
4. 質の高い保健医療サービス提供と保健医療人材開発を通じ、UHCを達成するための国内外における研修を実施します。

4) 仏語圏アフリカ保健人材管理ネットワークとは、仏語圏アフリカ13か国の保健省人材局長を中心としたネットワークのことを指します。
5) Health System Globalとは、保健医療制度の世界最大の学会組織のことを指します。